

千種区千種学区

震災避難行動マップ

避難行動の流れ

災害発生!!

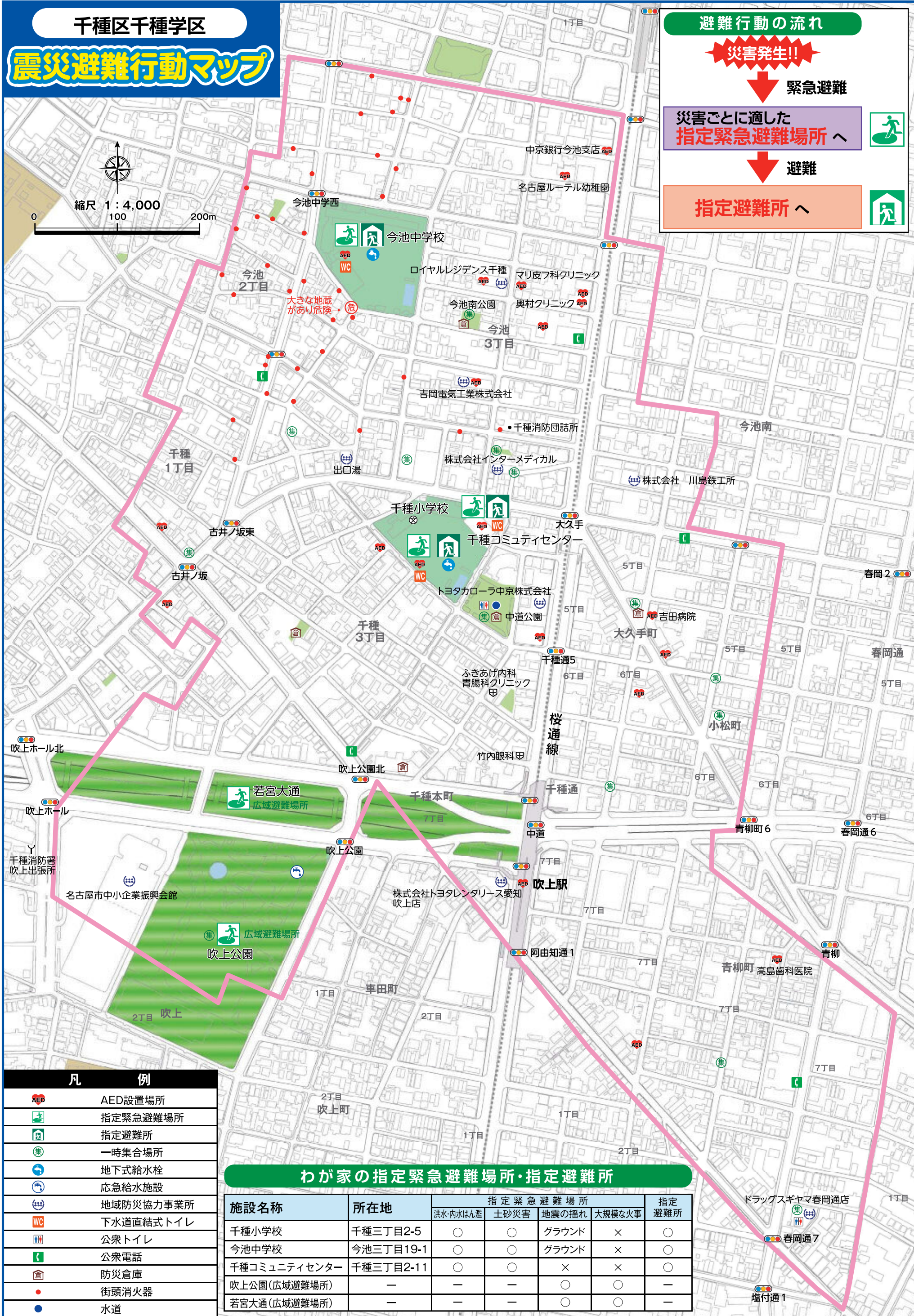
緊急避難

災害ごとに適した
指定緊急避難場所へ

避難

指定避難所へ

縮尺 1 : 4,000
0 100 200m



凡 例

	AED設置場所
	指定緊急避難場所
	指定避難所
	一時集合場所
	地下式給水栓
	応急給水施設
	地域防災協力事業所
	下水道直結式トイレ
	公衆トイレ
	公衆電話
	防災倉庫
	街頭消火器
	水道

わが家の指定緊急避難場所・指定避難所

施設名称	所在地	指定緊急避難場所				指定避難所
		洪水・内水はん濫	土砂災害	地震の揺れ	大規模な火事	
千種小学校	千種三丁目2-5	○	○	グラウンド	×	○
今池中学校	今池三丁目19-1	○	○	グラウンド	×	○
千種コミュニティセンター	千種三丁目2-11	○	○	×	×	○
吹上公園(広域避難場所)	—	—	—	○	○	—
若宮大通(広域避難場所)	—	—	—	○	○	—

震災避難行動マップガイド

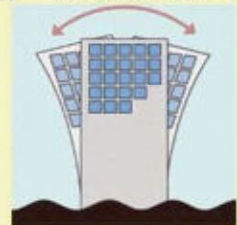
地域防災協力事業所

名前	所在地	協力内容
吉岡電気工業株式会社	今池三丁目27番7号	資器材等の提供
株式会社インターメディカル	今池三丁目40番4号	資器材等の提供
株式会社 川島鉄工所	今池南29番16号	避難場所資器材の提供
出口湯	今池三丁目36番10号	入浴の提供
株式会社トヨタレンタリース愛知 吹上店	千種通7丁目104番地	避難場所資器材の提供
名古屋市中小企業振興会館	吹上二丁目6番3号	資器材の提供
トヨタカローラ中京株式会社	千種三丁目6番2号	資器材の提供
ドラッグスギヤマ春岡通店	春岡通7丁目28番地の1	避難場所の提供、トイレの開放
ロイヤルレジデンス千種	今池三丁目15番6号	避難場所の提供、トイレの開放

マンションでの防災・減災

マンションは耐震性・耐火性のほか、保安面で優れていますが、大規模災害時には、長周期地震動による揺れ、火災延焼、エレベーター停止、断水等によるトイレの使用制限、住民の室内の様子が分かりにくい等マンション特有の懸念もあります。安心して生活するためにも、普段からの備えを進めましょう。

(例) 出典：気象庁ホームページ



●高層建築物は、長周期地震動と共振して長時間、大きく揺れる。(家具の転倒防止、できない場合でも部屋に「ここだけは安全!」という場所をつくる)

●配水管が安全確認できるまでできるだけ水を使わない。(下層における汚水の逆流防止。簡易トイレ(便袋)などを活用)

●地域コミュニティとの良好な関係(日頃の挨拶・声掛け。熊本地震では地域と良好な関係を築いていたマンションに、地域の働きかけで支援物資が届いた事例がある)

備蓄品・非常持出品 チェックリスト

災害や避難に備えて、ふだんから準備・点検しておきましょう。

備蓄品の例 災害に備えて用意しておきたいもの

命をつなぐために用意しておきたいもの

- ☐ 保存がきく食品(自分が食べやすいもの)
 - ☐ 常備薬(持病の薬を含む)
 - ☐ 飲料水(ペットボトル)
- 1人1日3リットルが目安です。また、水分の多い食品(ゼリーなど)と組み合わせることで量を減らすことができます。

7日分程度用意しましょう

内3日分程度は非常持出品へ

非常持出品の例 避難する時に持っていくもの

防災用品

- ☐ 携帯ラジオ
- ☐ ヘルメット・防災ずきん
- ☐ 軍手
- ☐ マスク

貴重品

- ☐ 現金(小銭も必要)
- ☐ 預(貯)金通帳の写し
- ☐ 健康保険証・免許証の写し
- ☐ カード類
- ☐ 認印・印鑑など

照明等

- ☐ 懐中電灯(電池含む)
- ☐ マッチ・ライター

医療用品

- ☐ 三角きん
- ☐ 包帯・ガーゼ
- ☐ ばんそうこう
- ☐ 消毒薬
- ☐ ウェットティッシュ(ティッシュ)
- ☐ お薬手帳

食器類

- ☐ はし・スプーン
- ☐ 紙皿・紙コップ

便利用品

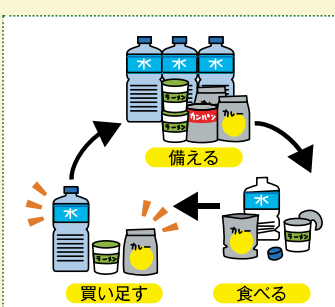
- ☐ 筆記用具
- ☐ 新聞紙
- ☐ 携帯用トイレ
- ☐ ゴミ袋
- ☐ キッチン用ラップ
- ☐ 使い捨てカイロ
- ☐ 雨具
- ☐ 手動携帯電話充電器

衣料品

- ☐ 衣類(着替え)
- ☐ タオル(大小2種類)

その他

- (個人的に必要なもの)
- ☐ 粉ミルク
- ☐ 紙おむつ
- ☐ 生理用品
- ☐ 予備のメガネ・補聴器など



※ローリングストック法
家庭で消費している日持ちする食品を余分にストックしておき、使った分を買い足すことで、普段の生活の中で負担なく備蓄することができます。



地震発生! 災害時の対応

地震発生

◆自分の命を守ることが優先!

- ・頭を守り揺れが収まるまで待つ
- ・安全に消せる場合は火を消す
- ・家具や家電の転倒や落下、ガラスの破片などに注意



丈夫な机がない時は、クッション、かばん、ナベなど身近にある物で頭を守りましょう。

安全にすばやい避難行動をとるためにも、**自宅の耐震化や家具の転倒防止対策**は日頃からしっかりと進めておきましょう。



自宅で命を守れるか

守れる

自宅にとどまる

緊急避難の必要なし

守れない

緊急避難

災害ごとに適した指定緊急避難場所へ

◆発災直後は落ち着いて行動!

- 揺れが収まってから行動する
 - ガス・水道の元栓を締め、ブレーカーを切る
 - 火元の確認、出火したら初期消火をする
 - 怪我をしないように靴やスリッパをはく
 - 家族の安否・家屋の被害状況の確認
 - 出入口の確保
 - ラジオやスマートフォンなどからの正しい情報の入手
- 地域には、町内会・自治会単位で結成された自主防災組織があり、災害時に初期消火・救出救護等の活動を行います。地域の被害を小さくするため、自主防災組織の活動にご協力をお願いします。



◆自宅に住めるなら、なるべく自宅で避難生活を!

指定避難所は、不特定多数の方が避難生活を送るため、環境の変化とともに大きな負担がかかることが想定されます。火災や家屋倒壊などの危険がない場合は自宅で避難生活を続ける「在宅避難」を考えましょう。その際は、下記のことを心がけましょう。



高齢者や障がいのある方などが取り残されていないか確認しよう!



周囲に在宅避難を知らせよう!



周囲で声かけし、食料や物資を分け合おう!

震災直後の地域活動の流れ

災害発生 1時間 2時間 3時間 6時間

